



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

新编日语简明教程

修订版

计 钢 编著

下册



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

新编日语简明教程

修 订 版

计 钢 编著

下册

图书在版编目（CIP）数据

新编日语简明教程·下册 / 计钢编著. —修订本.—上海:

上海外语教育出版社, 2008

ISBN 978-7-5446-0833-6

I. 新… II. 计… III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆CIP数据核字（2008）第052542号

出版发行：上海外语教育出版社

（上海外国语大学内）邮编：200083

电 话：021-65425300（总机）

电子邮箱：bookinfo@sflep.com.cn

网 址：<http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑：曹 艺

印 刷：上海外语教育出版社印刷厂

经 销：新华书店上海发行所

开 本：787×1092 1/16 印张 14.5 字数 279 千字

版 次：2008 年 10 第 1 版 2008 年 10 月 第 1 次印刷

印 数：3 500 册

书 号：ISBN 978-7-5446-0833-6 / H · 0358

定 价：30.00 元（附MP3光盘）

本版图书如有印装质量问题，可向本社调换

写在改版之际

《新编日语简明教程》问世于新千年之初。时间过得真快，转瞬间，5年光阴飞逝。承蒙老师们和同学们的厚爱，这套教科书经过5年10个学期的使用，发挥了她应有的作用，同时也顺理成章地有了改版之必要。这是因为：语言是有生命力的。

改版之际，考虑到语言基础的稳定性及词汇的变化性，在审视全书的基础上，笔者做了如下工作：

1. 对下册的选文作了适当调整，并更换了若干文章；
2. 丰富了“温故知新”的内容，适时归纳小结已学过的知识点；
3. 增设了“文化之旅”栏目，展示日本文化中语言的魅力；
4. 增加了“补充练习”部分，供课时较为充裕的老师及学有余力的学习者选择使用。

衷心希望改版后的《新编日语简明教程》，对教师而言，教起来更加得心应手；对学习者而言，学起来更加有趣味，更加实用。

上海商学院黄嵒老师参与了本教程练习选编工作。

计 钢

2007年11月于上海

致 读 者

《新编日语简明教程》是根据《大学日语(第二外语)教学大纲》的基本要求,并考虑到相当一部分大学的日语教学实际需求,在总结了大学日语教学实践经验的基础上编写而成的。

本教程由上、下两册组成,每册设计学时数为 72 学时,共计 144 学时,分两学期使用。

下册是在上册完成了基本语法教学的基础上,以阅读为主要目的编写的。下册共有 17 课,每课计划学时为 4 学时;另有机动学时 4 学时,可用作复习或机动安排。

本教程下册可用作大学日语二外教材、中级日语阅读教材、自修读本,还可用作研究生日语二外教材。下册具有如下特点:

- ▲ 考虑到二外学习的特殊性,提高词汇及句型的复现率。因此,上册中已出现过的部分单词及句型,在下册中仍加以注释,以利学习者在反复认读中轻松记忆。
- ▲ 适时小结归纳上册已学过的知识,以达到温故知新之目的;同时,适当补充新的知识点。
- ▲ 课文选材涉及文化、文学、评论、语言及典故等不同范畴,使学习者能较为全面地提高阅读能力。
- ▲ 练习以阅读理解为宗旨,以日汉互译为重点。因为理解和翻译实为同一事物的两种不同的体现形式,有着密不可分的内在联系。达意的翻译,一定是建立在理解基础之上的。
- ▲ 听力是交际的关键所在,也一直是日语二外学习者的弱点。为了使学习者“听说读写译”训练能同步进行,课后配有形式多样的听力训练。听力训练素材全部选自日本国际交流基金会专门为世界各国日语学习者编写日语素材集『教科書を作ろう・れんしゅう編』。听力训练的录音制作亦得益于日本国际交流基金会提供的母带,语音纯正、清晰。倘若时间允许,亦可在听力训练的基础之上,以此为素材,举一反三,进行会话练习。

细心的读者也许会发现,选用《新编日语简明教程》学习日语,“事半功倍”不再仅仅是一种理想,学习者可以花较少的时间,学到更多的东西。何乐而不为呢?

计 钢

目 录

第1課	日本の年中行事(一)	1
	语法解说及句型	
	温故知新 一、动词接「て」与「た」的活用形	
	二、中文“在”字的日译	
	小常识 日期的读法	
	听力训练 自己绍介	
	文化之旅 与身体相关词语的妙用(一) 足	
第2課	日本の年中行事(二)	11
	语法解说及句型	
	温故知新 表示假设条件的「ては」与「では」	
	听力训练 わたしの学校	
	文化之旅 与身体相关词语的妙用(二) 頭	
第3課	日光	21
	语法解说及句型	
	温故知新 应该用「～を出る」还是「～に出る」	
	小常识 数量词读法	
	听力训练 どんな店ですか	
	文化之旅 与身体相关词语的妙用(三) 口	
第4課	五色の鹿	30
	语法解说及句型	
	温故知新 「つもりだ」的两义	
	听力训练 田中さんの一日	
	文化之旅 与身体相关词语的妙用(四) 手	

第5課 方言殺人事件 41

语法解说及句型

温故知新 助动词「そうだ」

小常识 重箱読み・湯桶読み

听力训练 わたしの家族

文化之旅 与身体相关词语的妙用(五)耳・鼻

第6課 良薬は口に苦し 52

语法解说及句型

听力训练 休みのこと

文化之旅 与身体相关词语的妙用(六)目

第7課 過ちを再びせず 59

语法解说及句型

温故知新 用途广泛的「する」

文语点滴 「賢なるかな回や」

听力训练 誘いましょう

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(一)

第8課 新発明のマクラ 68

语法解说及句型

小常识 终助词的性别要求

听力训练 旅行の思い出

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(二)

第9課 セメント樽の中の手紙(一) 80

语法解说及句型

温故知新 「ながら」的顺接与逆接

听力训练 うちから学校まで

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(三)

第10課 セメント樽の中の手紙(二) 91

语法解说及句型

温故知新 各种各样的祈使句

听力训练 アルバイト
文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(四)

第11課

何もございませんが 102

语法解说及句型

温故知新 使役句式面面观

听力训练 もしもし

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(五)

第12課

ホラ吹き 113

语法解说及句型

听力训练 お大事に

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(六)

第13課

十秒の空白 122

语法解说及句型

温故知新 「ほど」的用法

听力训练 この人は誰ですか

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(七)

第14課

市民の声 131

语法解说及句型

温故知新 被动句式复习

听力训练 日本の一年

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(八)

第15課

サイコロの目 141

语法解说及句型

听力训练 かさ地蔵(一)

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(九)

第16課 有難迷惑 149

语法解说及句型

听力训练 かさ地蔵(二)

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(十)

第17課 ナポレオンと田虫 158

翻译训练及解说

听力训练 有名なところ

文化之旅 「いろは歌」と「いろはガルタ」(十一)

附录一 练习参考答案及“听力训练”录音文字 173

附录二 补充练习参考答案 187

附录三 课文参考译文 192

附录四 课文新单词一览 208

附录五 参考文献 222

第 1 課

日本の年中行事(一)

正月

日本では、都会でも田舎でも正月を祝います。そして、所によって違いますが、門や出入口には松を飾ります。元日から三日までは「三箇日」といって、官庁も銀行も会社も休みです。

元日の朝はみんな「明けましておめでとうございます。」と挨拶して、お屠蘇を飲んで雑煮を食べます。お屠蘇は薬の入った酒で、雑煮は、所によって中に入れる物は違いますが、野菜の汁に餅の入ったものです。

テレビやラジオの放送局では、三箇日の間、特別番組を作つて放送します。

元日の朝、年賀状が来ます。ふだんご無沙汰している知り合いや親類などの便りは本当に嬉しいものです。

午後にはご年始の人が来ます。たいてい「明けましておめでとうございます。昨年中はいろいろお世話様になりました。どうぞ今年もよろしくお願ひいたします」などと挨拶します。

節分

節分というのは季節の変わる時という意味で、一年に四回あります。しかし普通節分と言えば、冬から春にうつる時、すなわち立春の前の日を指します。この日の夕方から晩にかけて「福は内、鬼は外」と言いながら豆をまく習慣があります。

雛祭

昔は五節句と言ってお祝いの日が一年に五日ありました。正月七日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日です。

三月三日は女の子のお祭りです。桃の節句とも言いますが、今のことみでは桃はまだ咲きません。お雛様を段の上に飾って、友だちを呼んで白酒を飲んだり、お菓子を食べたりします。

鯉のぼり

五月五日は端午の節句と言って男の子の日です。戦後は「子供の日」となって、国民の祝日となりました。

男の子のある家では、家の中には、よろいやかぶと、また武者人形と言って、昔の侍の人形などを飾り、外には鯉幟を立てます。

鯉は急な流れをさかのぼる元気のいい魚とされていて、男の子が元気で大きくなるようにという願いから出たものです。

七夕

七月七日は五節句の一つで、星を祭る日です。天の川の両岸にある二つの星が一年に一度この日に会うと言われています。千二百年も昔の奈良時代から行なわれ、徳川時代に民間に広がりました。このごろはあまり流行らなくなりましたが、ある地方では大々的にやります。庭に竹を立て、細長い紙に字や歌を書いて竹の枝につけ、字や裁縫が上手になるように祈ります。

(日本言語文化研究所付属東京日本語学校・長沼現代日本語二 P. 84~88より)

新单词

行事①	[ぎょうじ]	〈名〉	(民间)节日, 活动
年中行事⑤	[ねんじゅう～]		一年中的节日
正月①	[しょうがつ]	〈名〉	正月, 新年
都会①	[とかい]	〈名〉	都市, 大城市
田舎①	[いなか]	〈名〉	乡下; 故乡
門①	[もん]	〈名〉	大门
出入口①	[でいりぐち]	〈名〉	出入口
松①	[まつ]	〈名〉	松树
飾る①	[かざる]	〈他五〉	装饰, 摆设
年賀状①③	[ねんがじょう]	〈名〉	贺年片

元日①	[がんじつ]	〈名〉	元旦
三箇日①	[さんがにち]	〈名〉	正月头三天
官厅①	[かんちょう]	〈名〉	政府机关
明けまして①	[あけまして]	〈词组〉	天明;过年
挨拶①	[あいさつ]	〈名・自サ〉	问候;致辞
屠蘇①	[とそ]	〈名〉	屠苏(酒)
雑煮①	[ぞうに]	〈名〉	煮年糕,年糕汤
入れる①	[いれる]	〈他下一〉	放入
汁①	[しる]	〈名〉	汤;汁儿
餅①	[もち]	〈名〉	年糕,糯米团
放送①	[ほうそう]	〈名・他サ〉	播放
放送局③	[ほうそうきょく]		电台;电视台
特別①	[とくべつ]	〈名・形动〉	特别
番組①	[ばんぐみ]	〈名〉	(电台・电视台)节目
ふだん①	[普断]	〈名・副〉	平素,平常
ご無沙汰①	[御ぶさた]	〈名・自サ〉	久疏问候,久违
知り合い①	[しりあい]	〈名〉	熟人,相识
親類①	[しんるい]	〈名〉	亲戚,亲属
便り①	[たより]	〈名〉	音信,(便)信
年始①	[ねんし]	〈名〉	一年之初;拜年
たいてい①	[大抵]	〈名・副〉	大抵,大都
節分①	[せつぶん]	〈名〉	节分(泛指立春、立夏、立秋、立冬的前一天; 特指立春的前一天)
意味①	[いみ]	〈名・他サ〉	意味,意思
普通①	[ふつう]	〈名・形动〉	普通;通常
うつる②	[移る]	〈自五〉	移(动);传染
すなわち②	[即ち]	〈接〉	即(是)
立春①	[りっしゅん]	〈名〉	立春
指す①	[さす]	〈他五〉	指
夕方①	[ゆうがた]	〈名〉	傍晚
晩①	[ばん]	〈名〉	晚上
福②	[ふく]	〈名〉	福

鬼②	[おに]	〈名〉	鬼
豆②	[まめ]	〈名〉	豆子
まく①	[撒く]	〈他五〉	(播)撒
雛①	[ひな]	〈名〉	雏鸟, 雉鸡
お雛様②	[おひなさま]	〈名〉	娃娃, 偶人
祭り①	[まつり]	〈名〉	祭日, 庙会; (民间)节日
雛祭③	[ひなまつり]		女儿节
節句③	[せっく]	〈名〉	(传统)节日
桃①	[もも]	〈名〉	桃
こよみ③	[暦]	〈名〉	日历
段①	[だん]	〈名〉	段; 台阶
白酒①	[しろざけ]	〈名〉	(女儿节饮用的)甜酒
鯉①	[こい]	〈名〉	鲤鱼
鯉幟③	[こいのぼり]		鲤鱼幡, 鲤鱼旗
端午①	[たんご]	〈名〉	端午(节)
戦後①①	[せんご]	〈名〉	战后(特指第二次世界 大战后)
国民①	[こくみん]	〈名〉	国民
祝日①	[しゅくじつ]	〈名〉	(国家法定)节日
よろい①	[鎧]	〈名〉	铠甲
かぶと①	[兜・胄]	〈名〉	盔
武者①	[むしゃ]	〈名〉	武士
人形①	[にんぎょう]	〈名〉	娃娃
侍①	[さむらい]	〈名〉	武士
立てる②	[たてる]	〈他下一〉	立(起)
急①	[きゅう]	〈名・形动〉	紧急; 突然
流れ③	[ながれ]	〈名〉	河流, 水流
さかのぼる④	[溯る]	〈自五〉	逆流而上; 追溯
七夕①	[たなばた]	〈名〉	七夕
星①	[ほし]	〈名〉	星
天の川③	[あまのがわ]	〈名〉	天河
両岸①	[りょうがん]	〈名〉	两岸
行なう①	[おこなう]	〈他五〉	实行, 进行, 举行

徳川時代⑤	[とくがわじだい]	〈名〉	徳川幕府时代
民間①	[みんかん]	〈名〉	民间
広がる①	[ひろがる]	〈自五〉	扩展; 蔓延
流行る②	[はやる]	〈自五〉	流行
大々的①	[だいだいてき]	〈形动〉	大规模(的); 很大(的)
竹①	[たけ]	〈名〉	竹子
細長い①④	[ほそながい]	〈形〉	细长的
紙②	[かみ]	〈名〉	纸
字①	[じ]	〈名〉	字
枝①	[えだ]	〈名〉	(树)枝
つける②	[付ける]	〈他下一〉	附上, 弄上
裁縫①	[さいほう]	〈名〉	裁缝
祈る②	[いのる]	〈他五〉	祈祷, 祝愿

语法解说及句型

1. …によって…違う

意为“因…而异”、“因…不同,(而)…不同”。

- 所によって中に入れる物は違います。/放入其中的东西因地区而异。
- 人によって、レベルが違います。/水平因人而异。

2. 主格助词「の」

当主谓词组作定语时, 主格助词「が」习惯上常常被换成「の」。

- お屠蘇は薬の入った酒です。/屠苏酒是掺入了(中)药的酒。
- 景色のいい所へ遊びに行くつもりです。/我打算去风景优美的地方旅游。

3. (时间体言)に

补格助词「に」接在表示时间的名词或数量词(时间体言)后, 可表示单位时间, 意为“每…”。

- 一年に四回あります。/每年有四次。
- 年に一度田舎に帰ります。/每年回一次乡下。

4. …から…にかけて

表示时空的大致范围, 意为“从…到…(范围)”。

- この日の夕方から晩にかけて、豆をまく習慣があります。/有从这天的傍晚到夜间的分撒豆子的习俗。
- ここから虹桥にかけては開発区です。/从这儿到虹桥一带是开发区。

5. まだ…ない

副词「まだ」常与否定式呼应，表示“还没…”、“还不…”。

- 桃はまだ咲きません。/桃花还没有开放。
- まだよく分かりませんね。/我还不大明白呢。

6. …を(自动词)

以「歩く」为中心词的、带有形形色色“走”之内涵的自动词所需的移动场所，要以「を」来表示。此时的「を」通常可译为“在”或“从”。

- 急な流れをさかのぼる。/逆急流而上(在湍急的河流中溯水而上)。
- 来年大学を出ます。/明年从大学毕业。

注： 所谓“形形色色‘走’之内涵”，是指这类自动词都与某种形式的“走”相关。如：从内向外“走”，即为「出る/出来」；在天上“走”，即为「飛ぶ/飞」；从上向下“走”，即为「降りる/下来」；在水中“走”，即为「泳ぐ/游」等等，诸如此类。

7. …とされる

这是「とする」的被动形式，意为“被看做(是)…”、“被当作(是)…”。

- 鯉は急な流れをさかのぼる元気のいい魚とされています。/鲤鱼被视为能逆流而上、富有朝气的鱼。
- 富士山は日本のシンボルとされている。/富士山被视为日本的象征。

温故知新

一、动词接「て」与「た」的活用形

动词后续「て」或「た」时，五段动词要用音便形；一段・カ变・サ变动词则用连用形。

1. 五段动词的音便形

音便形式	词尾假名	变化后的假名	接续假名
促音便	つ・う・る	つ	
イ音便	く ぐ	い	
拨音便	ぬ・ぶ・む	ん	
例 外	①「行く」为促音便,即「行った」「行って」。 ②「～す」词尾仍用连用形「～し」。以「話す」为例,则有「話した」「話して」。		

2. 一段・力变・サ变动词连用形

一段动词: 去掉「る」 例: 見る→見た、見て

力变动词: くる→き きた、きて

サ变动词: する→し した、して

二、中文“在”字的日译

中文一个“在”字,在日文中要视不同场合分别译成「に」「で」「を」。一般规律如下:

“在”
 に——存在场所・静态场所
 で——动作场所・动态场所
 を——带有“走”意义的自动词的移动场所(视情况可译为“从”)

- ラジオは机の上にあります。/收音机在书桌上。
- スーパーで買い物をします。/在超市购物。
- 去年大学を出了ました。/去年从大学毕了业。

小常识

日期的读法

ついたち 一日	ふつか 二日	みつか 三日	よつか 四日	いつか 五日	むいか 六日	なのか 七日
ようか 八日	ここのか 九日	とおか 十日	じゅういちにち 十一日	…	じゅうよつか 十四日	
… はつか 二十日	… にじゅうよつか 二十四日		… さんじゅうにち 三十日	… さんじゅういちにち 三十一日		



练习

一、将所给动词变成适当的活用形，填入()内。

1. 日曜日ですから、テレビを()たり、本を()だり、()だりするつもりです。 [見る 読む 休む]
2. 日本に()たら、電話をください。 [着く]
3. ()てみないと、分からぬでしよう。 [聞く]
4. あした、はやく()てくださいね。 [来る]
5. 日本語を勉強()て、一年になりました。 [する]
6. ちょっと()て。きっぷを()てきますから。 [待つ 買う]

二、从表示场所的助词「に・で・を」中选出一个适当的，分别填入()内。

1. 机の上()、花が飾ってあります。
2. わたしたちは大学()勉強しています。
3. 毎日六時半に家()出て会社へ行きます。
4. 社長はよく犬をつれて公園()散歩します。
5. 小林さんは図書館()本を読んでいます。
6. よく見てから道()渡ってください。

三、将下列句子译成日语。

1. 久疏问候，收到您的信真是高兴。
→
2. 在过去的一年中承蒙您多方关照，今年还望多加关照。
→
3. 请把花摆放在餐桌上。
→
4. 能力因人而异。
→
5. 据说每周有一场电影。(用「…と言われている」)
→